

〒386-0503 長野県上田市下武石111

電話(0268)85-2332(代) FAX(0268)85-2333

Eメール yodakubo@yodakubo.ed.jp

位置:北緯36°17'2 東経138°15'8 海拔610m

I 沿革史

現在の学制が試行されたのは、昭和22年4月からである。当時の武石村・大門村・長久保古町・長久保新町では、それぞれ国民学校の校舎の一部を中学校の校舎に充当して発足したが、小学校・中学校ともその教育を充実するため、併設を止めて独立したものにする必要性が早くから関係者間で考えられてきた。昭和28年4月、当時の長久保古町と大門村が学校組合を設立し、古町小学校の校地内に、組合立依田窪南部中学校を開設した。

しかし、教育的見地から、更に学校規模を適正にして教育効果の向上を図りたいとの要望が高まり、武石村・長門町の関係者の非常な努力により、新たな構想のもとに学校建設計画を立てられ、学校の位置を現在の地に決定した。

昭和31年4月大門村・長窪古町・長久保新町が合併して新しく長門町が発足した。それと同じくして昭和31年4月、武石中学校・長久保中学校・旧依田窪南部中学校の三校が統合して、新しく武石村・長門町中学校組合立依田窪南部中学校が発足した。しばらく部校制をとったが、学校建設の完了を待って同年6月1日現在の校舎へ全生徒が入り、名実ともに依田窪南部中学校となり現在に及んでいる。以下、年次を追って沿革の概要を記す。

昭和30年 3月 3日 武石村・大門村・長窪古町・長久保新町の四町村組合立依田窪南部中学校建設を決議

5月30日 敷地買収、7月10日整地開始

8月25日 校舎建設工事開始

11月6日 体育館工事開始

昭和31年 6月 1日 開校式

9月30日 大門村・長窪古町・長久保新町合併し長門町となり、武石村長門町中学校組合管理となる

11月15日 体育館、第二特別教室棟竣工式

昭和32年10月 3日 校歌・校旗披露式

昭和36年 7月 8日 プール竣工

昭和47年 6月20日 菖蒲園設置

昭和51年 9月21日 開校二十周年記念式典
中学生像「希望」中庭に建立

9月25日 開校二十周年記念式典挙行
記念事業実施

昭和55年 4月 3日 自校給食開始

昭和59年 8月10日 体育館屋根葺き替え



昭和31年 校舎完成時の航空写真



昭和29年 東京鎌倉修学旅行(南部中統合前)



昭和51年 開校二十周年記念と中学生像「希望」の披露

昭和61年11月 8日 開校三十周年記念式典 「校歌額」体育館に掲示
11月15日 開校三十周年記念式典挙行

昭和63年 10月26日 パソコン購入 体育館壁塗り替え

平成 3年12月 2日 バックネット修理 国旗掲揚塔の設置

平成 4年 4月 1日 校舎研究委員会発足 校舎建築の準備に入る

平成 8年 9月25日 依田窪南部中学校竣工並びに四十周年記念式典挙行

平成 9年 9月 1日 職員室にインターネットが入る
1月16日 大雪のため臨時休校 本校の積雪53cm
1月29日 本校校門前が長野オリンピック聖火リレーの中継地点となる

平成10年 12月 9日 新しいコンピュータ42台購入し、旧コンピュータとの入れ替え

平成14年 3月10日 校庭照明設置

平成17年 9月28日 開校50周年記念式典、屋内運動場・プール建設事業竣工式

平成18年 3月 6日 昨年10月1日の長門町和田村の合併、この日の武石村の上田市への合併によって、組合名が「上田市長和町中学校組合」となった。

平成21年 8月 全職員にパソコンが貸与 各学年棟に電子黒板設置

平成24年 7月 「花菖蒲復活大作戦」整備完了する

平成27年 8月 中学校統合準備委員会が設置され、統合に向けた準備が始まる

平成27年 9月25日 紫苑祭に先立ち、開校60周年記念式典を行う

平成29年 4月1日 新生依田窪南部中学校開校

令和 2年 4月 新型コロナウイルスによる分散登校
5月 菖蒲園ビオトープ完成

令和 3年 4月 個別最適化された学び実現に1人1台1台のタブレット端末配備・活用

令和 5年 5月 新型コロナ5類に移行、学校生活が通常に戻る



平成8年 新校舎完成



令和2年 コロナ感染症の拡大による分散登校